



第 30 号

# 千 町 田

## 代表理事

山本 耕一

この度、役員  
理事改選に伴っ  
て皆様のご承認  
を得て前期に引き続き代表理事の  
拜命を受け就任することになりま  
した。今後とも変わりませず事業  
運営にご協力とご理解を頂きます  
様よろしくお願ひ申し上げます。



さて、法人に移行してから5年が  
過ぎました。農業を取り巻く環境  
は一層厳しく変化して行くものと  
思われますが「のきの郷」の持続  
的発展と次世代に継承出来る体  
制作りを構築する必要があります。  
総会にてお示ししました新規事業  
計画の中期プランもその一環であ  
ります。経営基盤もあるべき姿に  
整いつつありますが更なる発展を  
目指すためには、経営の柱である  
水稻の販売戦略を立案する必要が  
あります。これから到来する米価  
の低価格時代を如何に対応するか  
であります。人口減少および消費  
者の米離れ等で需要量は毎年8万

## 平成30年新体制発足

トンずつ減少傾向にあります。こ  
の需要と供給のバランスを保つた  
め農林水産省は飼料用米の栽培面  
積を増やすことで回避しようとし  
ていますが、栽培面積が拡大すれ  
ば交付金予算額が増大し財政負担  
は更に大きくなることは必然で、  
現状の支払交付金額も減額になる  
ことが予想され米作の生産調整が  
成り立たなくなり加速的に米価が  
安値へ転ずる可能性が十分ありま  
す。また作付けを多収性品種の業  
務用米に転換し契約米として取組  
むことも真剣に検討し、製造経  
費・材料費等の削減と作業の能率  
化など製造原価の圧縮を図る必要  
があります。そのためには、従来  
型の栽培手法に囚われずあらゆる  
視点から農作業全般の見直しと水  
稲に次ぐ新規作物導入そして6次  
製品の商品化の検討が大切となり  
ます。

副代表理事  
坂田 宣雄  
第5期通常総  
会も無事終了し  
新体制がスター  
トいたしました。総会において今  
期の取組テーマを組合員の皆様に  
諮り賛同を得たところです。  
特に、今期から農政が大幅に変  
わり新たな収益源を模索せねばな  
りません。水稻がメインであるこ  
とには変わりはありませんが、当  
法人で生産する品目を検討する必  
要が急務となっております。今後  
副代表理事  
河津 一行  
先般の総会に  
おいて承認を受  
け再度副代表理  
事に任じられました。至らない点  
が多いとは思いますが今後3年間  
よろしくお願ひ致します。



至急検討し、組合員の皆様にお示  
ししたいと考えております。合わ  
せて当法人の生産物の加工を行う  
6次産業化への検討も行いたいと  
考えております。設備に関しまし  
て研修棟および機械収納棟の建設  
を計画いたします。合わせて構内  
整備も実施する予定です。また、  
農業機械の更新も順次行ってい  
ます。  
いずれにいたしましても組合員  
の皆様の協力がなければ実行でき  
ません。今期も皆様の協力をお願  
いいたします。  
また、農業のあり方も新時代を  
迎えようとしています。これまで  
と同じ方法や考え方ではこの時代  
を生き抜くことは難しくなると思  
います。ここを乗り越えていくに  
は若い力と新しい考えが必要にな  
ります。  
そんな新しい時代に対応できる  
ように、のきの郷ではさらなる組  
織の再編について考えてまいりま  
す。それこそが今回選出され  
た新理事の大きな  
役目と考えてい  
ます。



# アンケート結果報告

先般、アンケートを行いました。ご意見、ご感想も多数いただきました。今後の事業運営などの参考にさせていただきます。皆様よりご回答いただきました内容をまとめましたので報告させていただきます。



◎ 回答数 77件  
◎ 回答率 51.7%

約半数の方よりご回答いただきました。

家族構成で分かったことは、60歳以上の方が約半数を占めるという事と60歳以上のみの世帯が3割ということです。高齢化が進んでいることがわかりました。

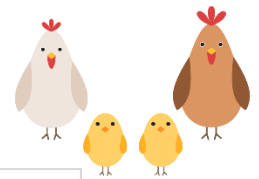
## 家族構成

年代	割合
70以上	30.0%
65～69	11.3%
60～64	5.8%
55～59	5.8%
50～54	6.5%
45～49	4.8%
40～44	3.9%
30～39	11.9%
18～29	7.1%
18未満	12.9%

## 世帯内訳

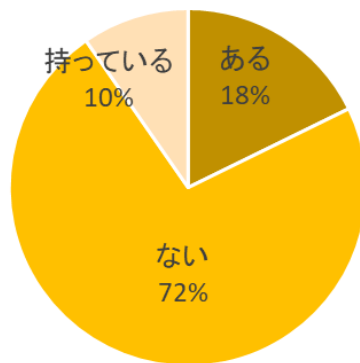
人数	割合
1～2人	35.1%
3人以上	64.9%

60歳以上のみ世帯	割合
	31.2%



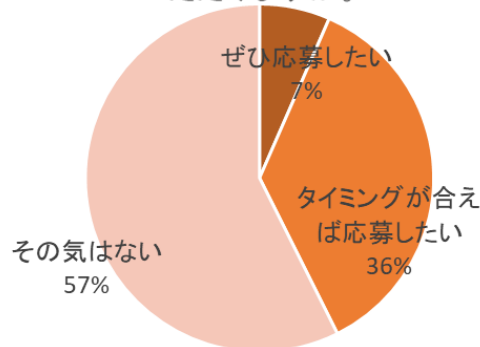
大型特殊免許（農耕車限定）取得については、問いの出し方が悪かったので答えに困られた方が多かったかもしれませんが、3割の方が何らかの形で興味を持たれたと思います。

## 免許取得に興味はありますか。

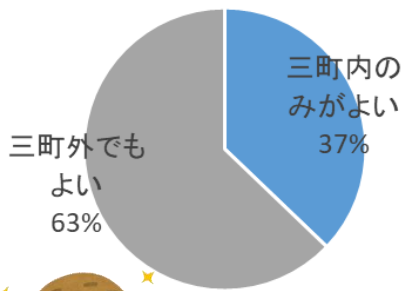


雇用についての問いは、4割を超える方より興味を示していただきました。また町内のみならず幅広く人材を欲していることもわかりました。

## 雇用の募集があれば応募していただけますか。



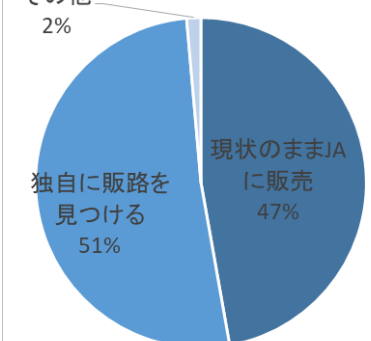
## 雇用の対象の方はどこにお住まいの方がよいと思いますか。



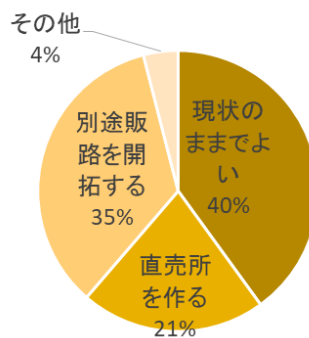
販売方法の問いには、いかに販売していくか対応を検討していかなければ



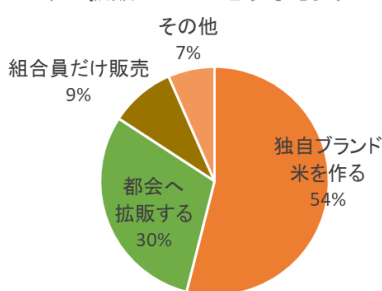
## コメの今後の販路についてどう思いますか



## 野菜(トマト、キャベツ)の今後の販路についてどう思いますか

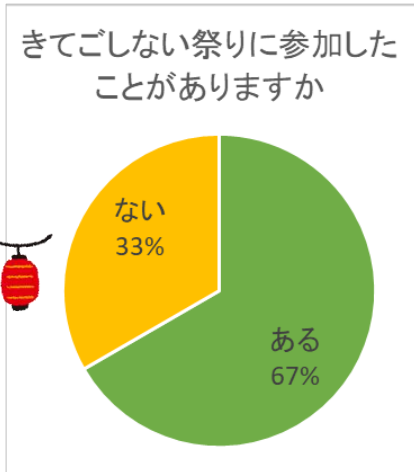
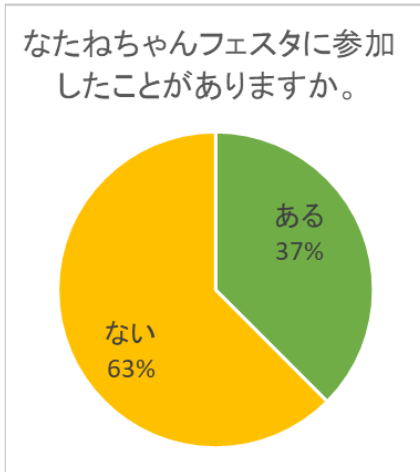


## 米の拡販についてどう考えますか



ばならないと感じました。

イベントについては、きてごしない祭りにはたくさんの方に参加いただいています。なたねちゃんフェスタは場所が毎年違うということもあり参加や認知度が低いようです。



意見をいただく問いに対してのおもな回答もご紹介しておきます。

【問い】どのようになりたく多くの方に作業協力いただけると思いますか。

【回答】・作業時間の短縮・従事力量単価の見直し・若い人にも声をかけてきめ細やかに出役要請をする・専従雇用

【問い】新規事業をどう思いますか。

【回答】・賛成、良い・継続性や採算を考える・必要ない

【問い】米の拡販についてどう考えますか。

【回答】・稲作技術向上が先決・業者、近隣の知り合いなどに拡販する・独自販売ルートを開拓する

【問い】コメの今後の販路についてどう思いますか。

【回答】・ネット販売・海外輸出・国策に左右され難しそう

【問い】野菜（トマト、キャベツ）の今後の販路についてどう思いますか。

【回答】・生産量の確保が必要・テレビなどを使ってPR

【問い】なたねちゃんフェスタ感想

【回答】・良かった・参加人数が少ない・参加は少ないが開催意義がある・参加が少ないので開催をやめる

【問い】きてごしない祭りの感想

【回答】・良かった・楽しかった・活気があってよい・親睦が図れるイベント

【問い】イベント全般についてのご意見ご感想。

【回答】・良い・開催が多すぎる・若い人も参加していて意義深い・継続してほしい・商品PRなど意識して開催する

【問い】のきの郷の事業運営全般についてご意見ご感想。

【回答】・お世話になっている・作業協力できなくて心苦しい・経験者の意見も聞いてほしい・未来像を示してほしい・栽培について勉強が必要・ハウスや格納庫など設備を充実させてほしい・生産効率を上げてほしい・コストを下げ収益を上げる努力をしてほしい・土地に対してもっと還元してほしい・6次産業化を目指す

回答いただいたご意見ご感想は本誌に掲載する際要約してあります。ご了承ください。

ご協力ありがとうございました。



### 第5期通常総会開催

2月18日に能義交流センターにおいて第5期通常総会が開催されました。近藤安来市長をはじめ安来市農林振興課、松江農業普及所安来支所、JAしまね安来地区本部よりご臨席いただきました。総会参加者は40名程度でしたが書面議決書の提出があり総会議決数を確保しました。また、今回は役員改選も行われ次のように承認されました。

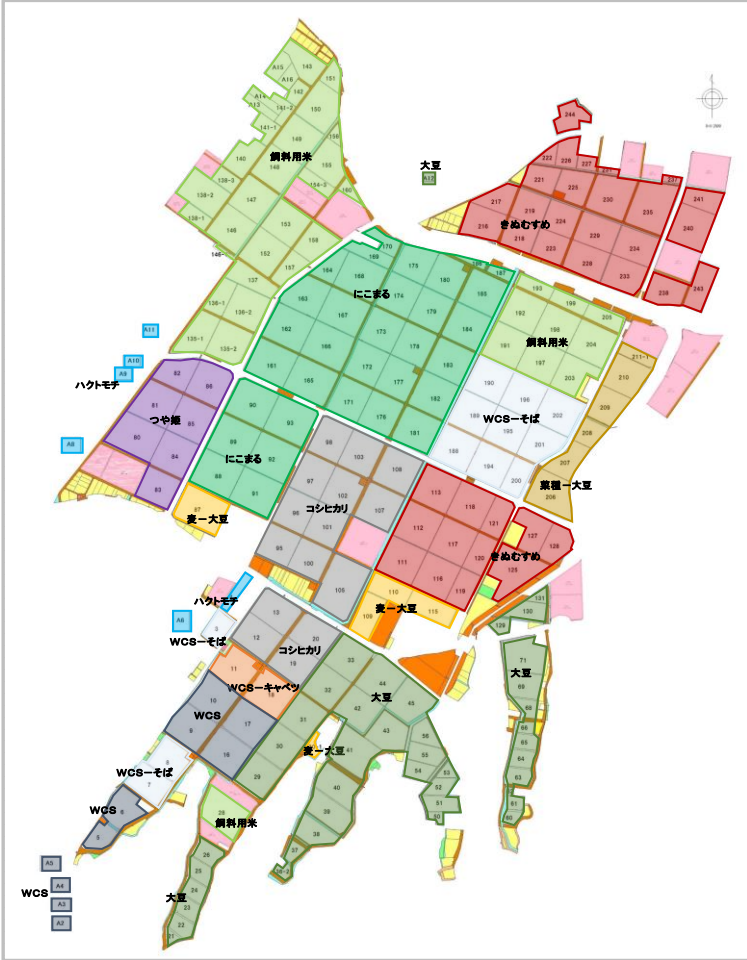


- |       |           |
|-------|-----------|
| 代表理事  | 山本 耕一（赤崎） |
| 副代表理事 | 坂田 宣雄（利弘） |
| 副代表理事 | 河津 一行（飯生） |
| 理事    | 佐伯 正志（飯生） |
| 理事    | 菱本 健一（飯生） |
| 理事    | 小川 聡（利弘）  |
| 理事    | 井塚 一男（利弘） |
| 理事    | 山本 朝来（赤崎） |
| 理事    | 原 稔（赤崎）   |
| 代表監事  | 山本 芳郎（飯生） |
| 監事    | 原 邦夫（赤崎）  |
| 監事    | 井塚 泰（利弘）  |
- 今後ものきの郷の運営にご協力をお願いいたします

# 平成30年作付計画

今年の作付計画が決まりました。春作業も随時始まります。作業要請がありましたらご協力いただきますようにお願いいたします

- 主な予定
- 4月10日 緑化苗引取り
- 4月14、15日 種まき
- 4月25日 田植え開始



1作目	作付面積	2作目	作付面積
つや姫	69,554		
コシヒカリ	149,257		
きぬむすめ	265,679		
にごまる	304,274		
ハウトモチ	8,624		
飼料用米	263,585		
WCS	181,054		
		そば	104,209
		キャベツ	20,209
麦	33,175		
菜種	41,733	大豆	74,908
大豆	194,284		
<b>1,511,219</b>			

**保有米・縁故米申込み受付開始**  
平成30年産米の保有米・縁故米の申込書を配布しますので、4月中にご注文いただきますようお願いいたします。



## 鳥獣侵入防止柵設置

鳥根県が要請し費用7割負担を受け、地元住民ができる鳥獣侵入防止柵敷設の実証圃場として、利弘町西谷の圃場に鳥獣侵入防止柵の設置作業を行いました。

対象となった圃場は昨年イノシシの進入があった圃場です。5人6人で作業を行い10日余りで約1kmのフェンスを張ることが出来ました。



## 実習受け入れ

昨年6月から県土整備事務所より2名、農業普及部安来支所より1名の自習を7回受け入れていました。おもに水稻直播作業、とまと作業、キャベツ作業を実習しており一緒に作業された方もおられると思います。それぞれの方から農作業の大変さや自分の職務からの感想などの報告と合わせてお礼の言葉をいただきました。

**新規雇用者紹介**

4月1日より常時雇用者を採用いたしましたのでご紹介いたします。



◎ 原 秀明 (赤崎町)  
この度、のきの郷の職員として採用されました。未熟者ですがよろしくお願いいたします。

**なたね油を値下げします**

平成28年産なたね油を値下げして販売します。賞味期限は平成30年9月～11月となります。ご希望の方はのきの郷事務所にて販売しておりますのでお出かけください。

小びん	500ml	450円
大びん	900ml	900円

平成29年産なたね油も同時に販売しております。こちらもよろしくお願致します。

3月後半からの暖かい日とで、菜種畑の菜の花もにぎやかに咲き始めました。白鳥ロードからもよく見えますよ。

